



Monthly

さいがただより

National Hospital Organization Saigata Medical Center

2020年4月 Vol.29



シヨウジヨウバカマ

発行：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 下村 登規夫 <https://saigata.hosp.go.jp/>
〒949-3193 新潟県上越市大湊区犀湊 468-1 TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824

〈基本理念〉「良い医療を安全に、心をこめて」

副院長就任のごあいさつ

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 副院長 佐久間 寛之

このたび、令和2年4月よりさいがた医療センター副院長に就任しました。平成30年4月に当院に赴任して以来2年、私は精神科医として、村上優院長特任補佐とともにさいがたの精神科再建のため、奮闘してまいりました。私たちのミッションは、地域によりよい医療を提供することです。そのために治療抵抗性統合失調症のための治療、依存症治療、地域生活支援のためのアウトリーチなどさまざまな試みを始めてまいりました。

さまざまな取り組みをスタートして痛感したのは、連携のたいせつさです。私一人の力では、ほとんど何もできません。2年間を振り返ったとき、院内においては下村院長、村上院長特任補佐、野村内科系診療部長、山本整形外科医長などさまざまなエキスパートの支えが必要でした。患者さんに適切なケアを提供するためには、看護師・薬剤師・作業療法士・心理療法士・精神保健福祉士・管理栄養士・事務職など多職種の皆様との密な連携が不可欠でした。そして患者さんの社会復帰、在宅復帰を支えるには、行政、医療機関、さまざまな医療福祉資源との連携が必須でした。

私たちが多くの患者さんを支え、患者さんの役に立つには、私たち自身が連携をたいせつにしなければいけません。私たちが目指すのは「小規模、多機能、高規格」の診療です。小さい病院のメリットを最大限に生かし、小回りの利いた連携、風通しの良い空気と診療体制で、高品質の医療を提供したいと考えております。そしてその風通しのよさを、地域連携にも広げていきたいと思っております。

私たちは今後も、地域の皆さまとの密な連携をこころがけてまいります。下村院長を中心に病院全体が一丸となり、一人でも多くの患者様のお役に立てるよう病院を革新し続けて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

さいがた医療センター アディクション研修会のご案内

さいがた医療センターでは、アディクション分野のフロントラインに立つ講師陣を迎え、研修会シリーズを開催しています。医療福祉関係者を対象とした研修ですが、どなたでも参加できます。どうぞふるってご参加ください。

詳細はQRコードよりご覧いただけます。

https://saigata.hosp.go.jp/addiction/addiction_pg9.html



参加無料

「独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター」

依存症専門医療機関・治療拠点機関に指定されました

副院長 佐久間 寛之

当院は、新潟県より「アルコール・薬物・ギャンブル」の3領域全ての依存症専門医療機関・治療拠点機関として指定されました。

お酒の問題だけでなく、違法薬物や処方薬依存、ギャンブル・ネット・ゲーム依存など、依存症全般を対象に診療を行っています。ご本人、ご家族からのご相談はもとより、行政機関からのケース相談にも対応しております。また、各依存症に対して治療プログラムの充実を図っており、認知行動療法のみならず、ヨガやスポーツ、筋トレなど多彩なプログラムを日々更新し続けています。医療福祉関係者、教育関係者などを対象に、プログラムの見学も受け付けていますので、どうぞお気軽にお電話をください。ホームページからもお申込みいただけます。

クロザピンの治療状況

薬剤科

平成30年8月から治療抵抗性統合失調症の患者さんに対してクロザピン治療を開始しました。現在33人の患者さんが服用しています。

令和2年3月新規1例、累計33例(4月1日現在)

神経難病医療

脳神経内科

当院の脳神経内科は80床あり、主にパーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統委縮症・筋萎縮性側索硬化症の薬物調整・リハビリテーション目的の入院を受け入れています。

また、地域包括ケアシステムの実現に向けて退院支援に力を入れており、多職種で協働するためにカンファレンスの充実を図り、患者さんにより良い援助・支援の提供を心がけています。地域における神経難病中核病院としての機能充実に努めています。

空床情報: 4月9日現在 13床

放射線画像診断の受入(共同利用)

診療放射線科

当院は、CT(80列)、MRI(1.5T)、そして上越地域では数が少ないSPECT装置を有しており、検査結果がすぐわかります。

この画像診断体制で、国立病院機構の役割の1つ「地域での医療の提供」の一環として、地域の医療施設からの検査依頼もお受けしています。お急ぎの場合には当日検査にも対応しています。ぜひご利用ください。

3月実績 MRI 7件、CT 2件、SPECT 0件

認知症医療

心理療法室

精神科、脳神経内科及び内科の各担当医師が連携して、幅広い視点から原因となる病気の特定に努めております。

また、当院にはCTスキャン、MRIが設置されており、脳波計を用いたより精密な検査や臨床心理士による神経心理学検査も実施可能です。お気軽にご相談ください。

デイケア

リハビリテーション科

当院では、社会生活機能の回復を目的として難病や精神障がいを持つ人のデイケアを実施しています。

難病デイケアは、毎週月・木曜日に実施しており、身体機能の維持・向上だけでなく、仲間づくりも支援しています。

精神デイケアは、毎週月曜日から金曜日まで、精神障がいの回復途上にある人が社会の中で自立した生活ができることを目指して実施しています。見学や相談、参加希望の方はお気軽にご連絡ください。

訪問看護

看護部

地域で安心して生活するために入院時から関わらせていただき、医師、ケースワーカー、作業療法士と連携しながら、病状や服薬に関する支援、家族への支援など、利用者の方に必要な支援を行っています。訪問は看護師の他、必要に応じてケースワーカーも同行し、書類作成や社会資源の利用などについても支援させていただきます。

重症心身障がい医療(ショートステイ)

療育指導室

当院の重症心身障がい病棟では、「医療型短期入所」(通称:ショートステイ)の受入れを行っています。

当院のショートステイは、在宅で生活されている重症心身障がい児者を対象に、申し込みいただいた一定期間を病棟でお過ごしいただき、食事のほか、ご利用の曜日等によっては入浴や日中活動も提供しています。また、日帰り利用や他の通所事業所の利用後に宿泊を伴う利用等も可能となっています。

利用される方や地域のニーズも取り入れ、利用しやすいサービスが提供できるよう取り組んでまいりますので、お気軽にお問い合わせください。

ショートステイ: 3月延べ42日 空床情報(長期利用: 4月9日現在 0床)



外来担当医表

←こちらのQRコードより
ご覧いただけます